



E コマンド

この章では、E で始まる Cisco Nexus 1010 コマンドについて説明します。

echo

引数を端末画面にエコー バックするには、**echo** コマンドを使用します。

echo [backslash-interpret] [text]

シンタックスの説明

backslash-interpret	(任意) バックスラッシュ文字 (\) に続く任意の文字がフォーマット オプションとして解釈されます。
<i>text</i>	(任意) 表示するテキスト文字列を指定します。このテキスト文字列は 200 文字以下の英数字で、大文字と小文字が区別され、スペースを使用できます。ここには、CLI 変数への参照も組み込めます。

デフォルト

空白行を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

echo コマンドをコマンド スクリプトで使用すると、スクリプトの実行中に情報を表示できます。

表 1 に、**-e** または **backslash-interpret** キーワードを指定したときにテキストに挿入できるフォーマット キーワードの一覧を示します。

表 1 echo コマンドのフォーマット オプション

フォーマット オプション	説明
<code>\b</code>	バック スペース。
<code>\c</code>	テキスト文字列の最後にある改行文字を削除します。
<code>\f</code>	改ページ文字を挿入します。
<code>\n</code>	改行文字を挿入します。
<code>\r</code>	テキスト行の先頭に戻ります。
<code>\t</code>	水平タブ文字を挿入します。
<code>\v</code>	垂直タブ文字を挿入します。
<code>\l</code>	バックslash文字を表示します。
<code>\nnn</code>	対応する ASCII 8 進文字を表示します。

例

次に、コマンドプロンプトで空白行を表示する例を示します。

```
switch# echo
```

次に、コマンドプロンプトで 1 行のテキストを表示する例を示します。

```
switch# echo Script run at $(TIMESTAMP).
Script run at 2008-08-12-23.29.24.
```

次に、テキスト文字列でフォーマット オプションを使用する例を示します。

```
switch# echo backslash-interpret This is line #1. \nThis is line #2.
This is line #1.
This is line #2.
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>run-script</code>	コマンド スクリプトを実行します。

enable

仮想サービスのコンフィギュレーションを開始してイネーブルにするには、**enable** コマンドを使用します。コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

enable [primary | secondary] [properties value]

no enable [primary | secondary] [properties value | force]

シンタックスの説明

primary	(任意) 仮想サービスをプライマリ ロールに指定します。
secondary	(任意) 仮想サービスをセカンダリ ロールに指定します。
properties	(任意) この仮想サービスでイネーブルにできるプロパティを指定します。
<i>value</i>	イネーブルにする仮想サービスのプロパティを指定します。Cisco Nexus 1010 では次の情報が求められます。 <ul style="list-style-type: none"> ドメイン ID この ID は、Cisco Nexus 1010 で使用したものと異なるドメイン ID する必要があります。 管理 IP アドレス 管理サブネット マスクの長さ デフォルト ゲートウェイの IPv4 アドレス スイッチ名 管理者パスワード
force	(任意) 仮想サービスの削除を強制します。

デフォルト

なし

コマンド モード

仮想サービス ブレード コンフィギュレーション (config-vsbs-config)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、セカンダリ仮想サービスを開始する例を示します。

```
n1010# config t
n1010(config)# virtual-service-blade VSM-1
n1010(config-vs-b-config)# enable secondary properties
Enter domain id[1-4095]: 1054
Enter Management IP address: 10.78.108.40
Enter Management subnet mask length 28
IPv4 address of the default gateway: 10.78.108.117
Enter Switchname: VSM-1
Enter the password for 'admin': XyXy123
n1010(config-vs-b-config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
virtual-service-blade	指定した仮想サービスを作成して、そのサービスのコンフィギュレーションモードに切り替えます。
show virtual-service-blade-type summary	すべての仮想サービスの設定の要約をタイプ名ごとに表示します。
virtual-service-blade-type description	この仮想サービスに追加するソフトウェア イメージ ファイルのタイプと名前を指定します。
description	仮想サービスに説明を追加します。
show virtual-service-blade name	仮想サービスに関する情報を表示します。
interface vlan	インターフェイスと VLAN ID をこの仮想サービスに割り当てます。
show virtual-service-blade	仮想サービス ブレードに関する情報を表示します。

end

コンフィギュレーション モードを終了して特権 EXEC モードに戻るには、**end** コマンドを使用します。

end

シンタックスの説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザの役割

network-admin
network-operator

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

end コマンドと **exit** コマンドは、**exit** コマンドでは前のコンフィギュレーション モードに戻る点で異なります。**end** コマンドでは常に、コンフィギュレーション モードを完全に終了して、特権 EXEC モードに戻ります。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードのセッションを終了して、特権 EXEC モードに戻る例を示します。

```
switch(config)# end  
switch#
```

次に、インターフェイス コンフィギュレーション モードのセッションを終了して、特権 EXEC モードに戻る例を示します。

```
switch(config-if)# end  
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
exit	現在のコマンド モードを終了し、前のコマンド モードに戻ります。

exec-timeout

アクティブでない状態のままの Telnet または SSH セッションを自動的にシャットダウンするまでの時間を分単位で設定するには、**exec-timeout** コマンドを使用します。exec timeout の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

exec-timeout *time*

no exec-timeout [*time*]

シンタックスの説明

time タイムアウト時間を分単位で指定します。指定できる範囲は 0 ～ 525600 です。
この指定時間より長い間アクティブでなかったセッションは、自動的に終了されます。

デフォルト

タイムアウトは設定されていません。

コマンドモード

コンソール コンフィギュレーション (config-console)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

time を 0 に設定すると、exec timeout はディセーブルになります。

例

次に、コンソール ポートの非アクティブ セッションのタイムアウトを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# line console
switch(config-com1)# exec-timeout 20
```

次に、仮想端末の非アクティブ セッションのタイムアウトを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# line vty
switch(config-line)# exec-timeout 20
```

次に、コンソール ポートの exec timeout を削除する例を示します。

```
switch(config)# configure terminal
DocTeamVSM(config)# line console
switch(config-console)# no exec-timeout
switch(config-console)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show terminal	タイムアウト値などの端末の設定を表示します。
show users	現在アクティブなユーザセッションを表示します。

exit

コンフィギュレーション モードまたは CLI を終了するには、**exit** コマンドを使用します。

exit

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザの役割 network-admin
network-operator

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、グローバル コンフィギュレーション モードを終了する例を示します。CLI は EXEC モードに戻ります。

```
switch(config)# exit
switch#
```

次に、インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了する例を示します。CLI はグローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。

```
switch(config-if)# exit
switch(config)#
```

次に、CLI を終了する例を示します。

```
switch# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	end	EXEC コマンド モードに戻ります。